

鶴岡市総合計画 基本計画・中項目における成果指標管理シート

様式D

大項目	中項目	中項目名称
7	2	藤島地域

**【施策の成果指標 項目】**

1 農業収入1,000万円以上の経営体割合

現状値	成果指標	(A) 算出方法
16.4% (2017 (平成29) 年度)	30.0% (2028年度)	市で把握している課税課資料等による1000万円以上の個人経営体及び営農計画等による農家数、法人経営体により算出

**(B) 計算詳細・備考等**

**【設定の考え方】**

水稻単作から脱却した園芸作物等の複合経営の促進などにより、農家収入が向上して安定した経営体の増につながります。

**【計算詳細】**

◎課税課で把握している平成29 (2017) 年の藤島地域における農業収入が1000万円以上の個人経営体の数は123となっている。(A)

◎農政課で把握している営農計画書等による平成29年度の藤島地域における法人経営体の数は、19となっている。(B)

◎農政課で把握している営農計画書等による平成29年度の藤島地域における水田農業の経営体数は、867となっている。(C)

◎これらの数値により、藤島地域の1000万円以上の農業経営体の割合を算出 ( (A+B) / C ) すると16.4%となっている。

**【平成27 (2015) 年の農林業センサスでは、藤島地域における1000万円以上の経営体は59で、700万円以上1000万円未満の経営体も同数の59人であり、今後の施策の展開により、この層を1000万円以上に引き上げる】**

◎今後の施策の展開により、倍増を目指す。

**【変更理由】**

2 ふじ関連イベント・施設入込数

現状値	成果指標	(A) 算出方法
21,615人 (2017(平成29)年度)	36,800人 62,000人 (2028年度)	藤島地域3つの祭りへの入込数と歴史公園及び東田川文化記念館への施設入込数について、施策推進の効果として算出

(B) 計算詳細・備考等

【設定の考え方】

新たな地域資源である歴史公園Hisu花と東田川文化記念館の利活用を図ることにより、ふじの花まつりなどイベントを含めた交流人口の拡大につながる。

【計算詳細】

対象イベント・施設	現状値	増加率(10年)	成果指標	
ふじの花まつり	5,575人	200% 126%	11,150人 7,000人	※歴史公園を活用したまつりの開催・展開等
ふじしま夏まつり	5,800人	170% 103%	9,860人 6,000人	
ふじしま秋まつり	2,100人	130% 119%	2,730人 2,500人	
東田川文化記念館	7,951人	150% 151%	11,927人 12,000人	
藤島歴史公園	189人	600% 18,254%	1,134人 34,500人	*現状値:都市公園施設管理許可申請数
計	21,615人		36,801人 62,000人	

【変更理由】

コロナウイルス感染症による事業の中止に伴う入込数の減少と、藤島歴史公園「Hisu花」に冬期間に開設する「藤島イルミネーション」の入込数の増加を加味して変更したため

3 藤島地域の年間人口減少率

現状値	成果指標	(A) 算出方法
△1.9% (2017(平成29)年度)	△1.5% (2028年度)	住民基本台帳における藤島地域居住者の年度間の人口減少率を基に算出

(B) 計算詳細・備考等

**【設定の考え方】**

生活基盤の再構築など安心して暮らせる支援や仕組みづくりの推進により、定住地や子育て世帯に選ばれるまちと実感され人口減少率の低下につながる。

**【計算詳細】**

平成19年度からの5年間の平均年間人口減少率は1.13%、平成24年度～5年間の平均年間人口減少率は1.5%である。年度により上下はあるが近年人口減少率が増加しており、平成29年度の減少率は1.9%である。産業集積の取り組みや住宅地や公共交通の確保など生活基盤の再構築により、住環境の整備が図られ、住みよい地域として定住が図られる。自然減による人口減少が予測されているため、社会減を抑制することにより人口減少率の低下につながる。

**【変更理由】**